



1908 フォード 取り外し可能なヘッドコンセプトエンジン



製造情報

製造商	フォード自動車
組付工場	ピケットアベニュー工場、デトロイト、ミシガン州
モデル生産量	1
総生産量	未知の
馬力	22
重量	未知の
当時売価	未知の

イノベーション(ポイントのみ)
同じ鋳物内にある4つのシリンダー

取り外し可能なヘッドコンセプトエンジン

遊星歯車機構

デザインは複雑になったが、よりもちの良い車
に

取り外し可能なヘッドコンセプトエンジン

このテストエンジンは、モデルTのエンジンの設計につながる重要な一歩を示したと言えるでしょう。初期の自動車設計においてエンジンブロックはシリンダーの一端を閉じた状態で製造する事が提唱されていました。一端が閉じられたシリンダーは取り外し可能なカバーよりもはるかに作るのが複雑で大変でした。しかし一方で、取り外し可能なカバーは高圧の燃焼ガス及び冷却液が外に逃げ出す恐れがありました。ヘンリーフォードが生産する車の台数を考えると、取り外し可能なヘッドコンセプトエンジンを作る事の容易さが決め手となり、ついに変更する事になりました。このコンセプトエンジンのフライホイールは前モデルNエンジンと同様に、エンジンの前に丸出しになって突き出ています。モデルTのフライホイールとマグネトは最終的にエンジンブロックとトランスミッションの間に設置されました。

貸与先: Jerry VanOoteghem & Norman/Donna Bolz